

吉林省檔案館
廣西師範大學出版社 編

日本關東憲兵隊報告集（第二輯）11

廣西師範大學出版社

· 桂林 ·

目 录

11	第三司团司令部战时月报(昭和十一年四月份).....	四二一
10	野副部队战时月报(第八十四号).....	三七九
9	野副部队战时月报(第七十九号).....	三四七
8	野副部队战时月报(第七十八号).....	三一五
7	新京警备司令部战时月报(第一号).....	三〇六
6	中支那派遣宪兵队战时月报乙(七月份).....	二六五
5	中支那派遣宪兵队战时月报乙(昭和十七年十一月二十日).....	二〇〇
4	中支那派遣宪兵队战时月报乙(昭和十七年六月十五日).....	一二九
3	中支那派遣宪兵队战时月报乙(昭和十七年四月二日).....	〇六七
2	中支那派遣宪兵队战时月报乙(昭和十七年二月二十日).....	〇一三
1	第十一军管区情报月报(康德九年八月四日).....	〇〇一

地區	東公
類別	
編號	(56)

昭和十七年

戰時月報

警務書類綴

保存期限
十年

關東憲兵隊司令部

司	令	官	總	海	陸	軍	長	任	主	任

17
8.
19
受

極
秘

十一世情第六二號

情
報
月
報

(七月分)

治 安 部	經 第
由	參
九 年 八 月	八 日

康
德
九
年
八
月
四
日

第
十
一
軍
管
區
司
令
部

17.8.18

8.14
到

凡

例

○

本簿冊ハ警務書類

ニ屬スルモノ

中左ニ關スルモノ

ヲ綴ル

目 次

一、一般概況

二、治安ニ關スル事項

三、防衛ニ關スル事項

四、政治經濟ニ關スル事項

五、向岸ニ關スル事項

一、一般概況

管内蟾躍匪ハ第二支隊王効明以下約六〇名ト推斷セラレ寶清縣北部及寶富縣境地區ニ分散罾粟收穫及糧道確保ノタメ蠢動シアルモノノ如シ

2 食糧不足ニ依ル農民ノ生活不安動搖ハ漸増ノ傾向ニ在リ、離農、縣外移住者等續出シアリテ緊急對策ノ要アルヲ認ム

3 七月八日東安鎮背叛事件突發ス

二、治安ニ關スル事項

匪蹤

管内匪ハ王効明以下約六〇名ト推斷セラレ依然寶清縣西北部及寶富縣境地區ニ分散蠢動シ罾粟收穫、糧道確保ニ專念シアルモノノ如ク罾粟密作ヲ想地區ニ於ケル匪ノ出沒稍活潑ナリ

月間出現狀況左ノ如シ

七月七月 寶清縣城北方約六〇料黑林子寶清石憲工作員小屋ニ武装匪（劉雁來匪？）一三名侵入身分証明書を提示セシメ官憲

、密偵ナラヌヤト訊問ノ後約三時間北方ニ向テ運行シ放
遣セリ

七月十日

寶清縣城西北方約四八村六橋附近ニ武装匪二名（三効明
匪？）出現全所運行中ノ探金會社滿人ト遭遇銅盆山方面
ニ拉致シ全匪團主力（王効明以下？）十八名待期場所ニ
於テ被服掠奪ノ上放遣セリ

七月十日

二十二時寶清縣城西北方約五十二村楊家園子工廠附近
現場事務所ニ武装匪十名出現日人一。滿人一。村長全體
其他ヲ掠奪吾人二十三名ニ擄行セシメ銅盆山方面ニ逃走
セリ

七月二十一日虎頭憲兵隊工作員六名ハ饒河縣花拉子附近ニ於テ暴徒密

作中ノ不詳匪八名ト交戦二名行方不明トナリタリ

七月二十二日寶清縣城西方三〇村磐石河川流域區警察隊工作小屋ニ

武装匪十四名（一各人小銃三効明以下？）出現警察密
偵二名ヲ拉致逃走ス

七月二十二日 雞寧縣 李子溝ニ不明匪（逃亡工人？）一六名出現逃走ス
民衆

ノ日系

大東亞戰以來ノ輝ク戰果ニ皇軍必勝ノ確信ヲ抱キ官民一体戦域奉
公ニ精進シアリテ開戦當初ノ如キ昂奮狀態ヨリ漸次冷靜化シ北守
ノ重要任務ヲ認識シ獨ソ戰ノ版趨並ニ日ソノ微妙ナル現狀ニ重大
ナル關心ヲ持シアリ

ノ鮮系

國策ニ順應シツツアリテ表面何等ノ特異動向ヲ認メラレサルモ一
部民族意識ヲ口ニスルモノ或ハ給與、配給等ニ於テ日系トノ差別
待遇ニ不平不滿ヲ洩スモノ等アリ最近稍增長ノ嫌ナシトセス

ノ滿系

一般下層民衆ハ戦局ノ版趨等ニハ無關心ナルモ特ニ日常生活ノ不
如意就中食糧不足ニハ深刻ナル苦痛ヲ感シアリテ長期戦ノ必然的
結果ナリトシ當局ノ施策ニ對シ不平不滿多量ノ傾向ニ在リ

特ニ民食不足ニ基因セル離農、縣外移住等一部動搖ノ微アルハ嚴重警戒ヲ要スヘシ

民食問題

昨年度凶作並ニ物資配給不圓滑ニ起因スル民食難ハ益々深刻化シツツアル關係機關ニ於テハ凡有施策ヲ講シアルモ饒河縣ニ於テハ特ニ其ノ窮狀甚シク一部農民ニ於テハ農耕期ニ際會シナカラモ尙現實ノ生活苦ト凶作ノ悲慘サヲ回想シ離農、轉徙、或ハ縣外移住者等漸増シアリ又全縣小佳河農民ノ食糧皆無ニシテ僅ニ草根木皮ニ依リ辛シテ生命ヲ繋キアル狀況ニナリ緊急民食配給ノ適正、民心ノ慰撫安定ヲ要スルモノト認メラル（十一電情第六一號参照）

特殊國体

特記事項ナシ

三、防衛ニ關スル事項

ノ七月八日 東安鎮背叛事件突發ス

2 不正入籍者

七月五日 密山縣二人班ニ逃亡ソ聯兵 一名

七月十八日 全 二逃亡ソ聯兵 一名

七月三十日 虎林縣通化村ソ謀客疑露人 一名

三、鐵道事故

月間發生セル鐵道事故十件ナルモ後レモ自然發生事故ニシテ謀客

客疑ヲ認メス

四、政治經濟ニ關スル事項

特記事項ナシ

五、向岸ニ關スル事項

向地ノ情況ハ前月ニ比シ變化ヲ認メサルモ統計上ニ表ハレタル其ノ
動向ハ低調ヲ辿リアル如キモ之等ハ天候氣象ノ影響ニ依ルモノト思
料セラレ判斷困難ナルモ動向ノ大要左ノ如シハ江上軍三地區除報一
イ、人員（徒歩兵）人員ハ稍減少シアリ
ロ、飛行機ハ著シク減少セリ
ハ、艦艇ハ七月上旬迄メテ活潑ニ行動シアリタルモ中旬以降著シク

減少シ前月ノ半數ニ及ハス

二、馬車ノ運行ハ増加シアリ、虎頭正面障地補強工事材料運搬等ノ

タメト恩料セラル

三、自動車ハ前月ニ比シ増加ヲ示ス

四、汽車變化ヲ認メス

其他

六月中降雨ニ依リ烏蘇里江ハ稀ニ見ル増水ニテ虎頭正面、三軒家「サリスキ！」ヲ除キ各障地ハ殆ト浸水シアリ之カタメ一部ノ障地守備兵ハ三軒家附近ニ後退天幕露營ヲナシアルモノノ如シ

第十二區管區計餘效果一覽表

第九。七。末調

日 月	場 所	計 餘 代	計 代 功 果	我 損 害
5/7	大藥子 舊情西北 二十八區 計代餘	阿片密作地四 經說 二 却		
12/7	藍花頂子 西北方三 全右 ○	阿片密作地三 經說 二 却		

極秘

中憲戰時月報第一號

副司令官		參謀長		主任		秘書	
17	3	1	2	3	4	5	6
受		受		受		受	

戰時月報乙（一月分）

昭和十七年二月二十日
 中文部派遣憲兵隊司令部

發 送 先

總司 (二〇)

方總司 (三)

呂集司 (三〇) 登集司 (五) 軍報 軍涉 軍顧

總司上海機關 漢特

酒井 太田 武內 堤 (三) 南部 赤鹿 田上

野副 秋山 田村各邵隊

中支警 興亞院華中連絡部

憲司 憲校 (三) 關憲司 北支憲司 南支憲

寫 下 乙 (南、藤、泰、漢、徐八內)